

授業科目名 <英訳>	東洋史学(特殊講義) Oriental History (Special Lectures)				担当者所属・ 職名・氏名	国際高等教育院 教授 岩井 茂樹					
配当 学年	全回生	単位数	2	開講年度・ 開講期	2015・ 前期	曜時限	水1	授業 形態	特殊講義	使用 言語	日本語
題目	中国档案・文書学導論										
【授業の概要・目的】											
<p>中国では官府の保存公文書を「案巻」などと称していた。清朝時代にはあらたに「档案」という用語が使われるようになった。案巻や档案は史書や地方誌の編纂のさいに利用されることはあったものの、朝廷の内閣大庫や地方官衙の架閣庫などに保管され、公開利用などの制度はなかった。1920年代末に内閣大庫の档案が市中に流出する事件が起こってから、あらためてその価値が認識され、保存措置が講じられるとともに、1930年代以降、中央研究院などによる組織的な研究が開始された。今日にいたるまで中国・台湾ですすめられた档案資料の整理・出版は、档案資料の利用におおきな利便をもたらしている。</p> <p>この講義では「案巻」「档案」の実例を提示しながら、多岐にわたる資料群の梗概を紹介するとともに、その釈読の訓練をおこなう。</p>											
【到達目標】											
<p>「案巻」「档案」について基礎的な知識を把握するとともに、公文書に独特の語彙や句法を理解して、釈読ができるようになることを到達目標とする。</p>											
【授業計画と内容】											
<ol style="list-style-type: none"> 1.内閣大庫档案の流出と档案研究の隆盛 2.戸部档の行方 3.明代の案巻資料 4.明代黄冊関係文書 5.題本と編纂・刊行された奏議 6.朱批奏摺と軍機処档 7.清代の地方官府の档案 8.バタビアのカピタン文書 9.公文書と印璽 <p>各テーマについて1～2回の講義をおこなう。</p>											
【履修要件】											
特になし											
【成績評価の方法・観点及び達成度】											
学期末にレポート試験をおこない、成績を評価する。											
----- 東洋史学(特殊講義)(2)へ続く -----											

東洋史学(特殊講義)(2)

[教科書]

使用しない

[参考書等]

(参考書)
授業中に紹介する

[授業外学習(予習・復習)等]

資料を配付するので事前に目を通しておくこと。

(その他(オフィスアワー等))

オフィスアワー実施の有無は、KULASISで確認してください。